

## 2020年度（令和2年度）広島市立大学卒業式学長告辞

学部卒業生、大学院修了生、博士号取得の皆さん、本日はご卒業、ご修了、博士号取得、まことにおめでとうございます。これまで卒業生・修了生を支えてこられましたご家族の皆様にも大学を代表してお慶びを申し上げます。

本日の卒業式を迎え、皆さんの胸の内には、本学で過ごした年月の様々な思い出が走馬灯のように浮かんできているのではないのでしょうか。

社会においてもいろいろな出来事がありました。学部卒業生の皆さんの多くが入学した2017年4月以降においても、2018年7月には西日本豪雨災害があり、広島市も大きな被害を受けました。2019年5月1日、元号が平成から令和に変わりました。2019年11月にローマ教皇が広島市を訪問したのも大きなニュースでした。そして、2019年の年末からは今も全世界で感染拡大が止まらない新型コロナウイルス感染症です。2020年7月に開催されるはずだった東京オリンピックは本年夏に延期されました。

この1年間、皆さんの学生生活は新型コロナウイルスで大きな影響を受けたことと思います。卒業研究や卒業制作等も例年とは大きく異なる環境での研究や制作となり、大変だったでしょう。大学はウイルス感染防止に最大限の配慮をしつつ、良好な教育研究環境の維持に可能な限り努めましたが、不十分な点もあったかもしれず、大学として申し訳なく思います。コロナ禍の様々な困難があったにも関わらず、それに負けずに勉学と研究に励み、本日、卒業、修了を迎えられた皆さんに、最大限の敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスはこの世界を大きく変えました。ワクチンが開発され接種が始まったとは言え、未だに世界中でウイルス感染は収まらず、収束するまでには数年はかかると予想されています。

コロナ禍によってビフォアコロナの世界では当たり前のように思われていた価値観や規範が大きく揺らぎました。例えば、効率を最大限重視する経済や国境を越えたグローバル化の負の側面がコロナ禍により表面化しました。経済効率を最大限に重視した結果がマスクのような基礎的医療物資さえも他国の生産に頼る経済体制を生み出し、今回のパンデミックに際しては極端な供給不足を招くこととなりました。私達の社会は、目に見えぬところで脆弱性が著しく増大していたことが、コロナ禍により明らかになったのです。

アフターコロナの世界においては、社会におけるこうした課題の克服を目指し、様々な変革が一挙に進むと予測されています。人工知能（AI）の進展と共に、社会の仕組みやビジネス環境がデジタル化され、雇用や労働の在り方なども大きく変化するでしょう。大学教育にも大きな変化が予想されています。そして、こうした変革の過程においては、従来の仕組みや発想では対応できないことも頻発し、いろいろな場面において齟齬や軋轢が生じる可能性があります。

今年、卒業・修了される皆さんは、アフターコロナの世界において、21世紀後半に至るまで、社会の変革と進展を中心となって担うこととなります。大変な世界で生きていくことになる、と不安に思っている人もいるかもしれませんが。しかしながら、「ピンチはチャンス」、「災い転じて福となす」という言葉もあります。逆境こそ成長と飛躍の絶好の機会と信じ、チャレンジすることが大切です。ピンチのときにじっとしていたのでは、成果は得られません。どんな困難に直面したとしても、本学で学んだ皆さんは新しい道を切り開く力を持っています。それを信じ、前に向かって進んで行って下さい。

とはいえ、先の見えない世界に飛び出したとき、時には人生に迷い、どう生きればいいのか、と思うこともあるかもしれません。そうしたときに思い出してもらいたい言葉を2つ、私から皆さんに贈ります。

「人生とは自分を見つけることではない。

人生とは自分を創ることである。」

これは1925年にノーベル文学賞を受賞したアイルランド出身の文学者であり劇作家としても著名なジョージ・バーナード・ショーの言葉です。理想の「自分」がどこかにあるわけではない。日々の行動が「自分」を創り出す。だから思い煩うことはやめて、自分になりたいもの、実現したいことに集中すればよい。このようにショーは言っていると私は解釈します。

それでも、どこに向かって歩けばいいのだろう、と思うことがあるかもしれません。そのときは彫刻家であり詩人でもあった高村光太郎の詩『道程』の一節を思い出して下さい。

「僕の前に道はない

僕の後ろに道はできる」

本来、道などはないのだ、自分が道を創るのだ、と思い定めることができれば、未来に向かって力強く踏み出すことができるでしょう。

最後になりますが、新型コロナウイルスの感染が収まらず、昨年度に引き続き、本年度の卒業式も例年の形態では実施できなくなったことはまことに残念です。しかしながら、卒業式の形態がどうであろうと、ご家族、皆さんの友人、そして大学教職員は皆さんの卒業・修了を祝い、新たな門出を心から祝福します。皆さんのこれからの健康と幸運、活躍を心より祈ります。

本日は、ご卒業、ご修了、まことにおめでとうございます。

2021年（令和3年）3月23日

公立大学法人広島市立大学 理事長・学長 若林 真一